

「おもほり」

上田 禅 (うえた ぜん) 4歳

本願寺中央幼稚園
(京都教区)

●表紙のことば●



二種類の緑色と紫、赤紫を思いのままに駆使して、くるくると巻いている蔓の様子や、お芋が蔓の先に並んで付いてきた様子を丁寧に描いています。さらにパスで、楽しそうな表情の人物が4人描かれています。画面右上にはお日様も描かれており、この日はお天気が良かったこともわかります。この絵からは禅さんの声がたくさん聞こえてくるようです。

芋掘りを終えた帰りのバスの中で、ある子が「どうやっておもほりもできてたか、ママわからへんなあ」と言い出したそうです。さらに別の子から「お絵かきして見せたら良いんじゃない?」という声もあがり、自然に描画活動への流れができたそうです。そのような中、禅さんは、この絵の中に自分の家族を描いたそうです。楽しかった芋掘りと、家族を思う気持ちが重なって生まれた禅さんの作品は、描画活動が単なる経験の再現だけではないことを教えてくれます。この想いを受容してくれる先生がいるからこそ、伝えたい想いを素直に表現できるのです。

おお はし いさお
大橋 功

岡山大学学術研究院
教育学域